

1.2 廃熱・未利用熱・営農地等の効率的活用による脱炭素化推進事業〈営農型等再生可能エネルギー発電自家利用モデル構築事業〉

② 太陽光発電によるエネルギーコスト削減と、ブランド力向上

事業概要

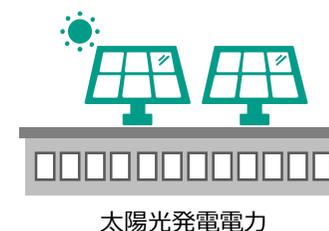
事業者概要	事業者名	株式会社土田鶏卵
	業種	農業、林業
事業所	所在地	福井県
	総延床面積	3,200m ²
補助金額	補助金額	約1,190万円
	補助率	1/2
主な導入設備	従前設備	なし（新設のため）
	導入設備	太陽光パネル 148.5kW
事業期間	稼働日	2022年4月
区分		新設
特長		太陽光発電により、鶏卵の選別包装施設に必要なエネルギーを供給することができ、商品のブランディングにもつなげている。

システム図

実施前



実施後



写真

株式会社土田鶏卵下中GPセンター屋根上の導入設備（太陽光パネル）



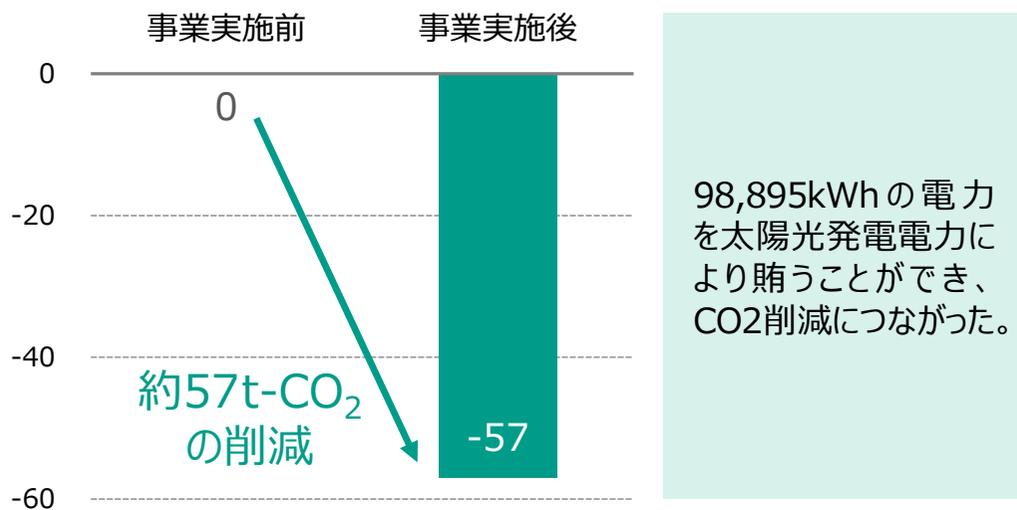
② 太陽光発電によるエネルギーコスト削減と、ブランド力向上

事業の効果

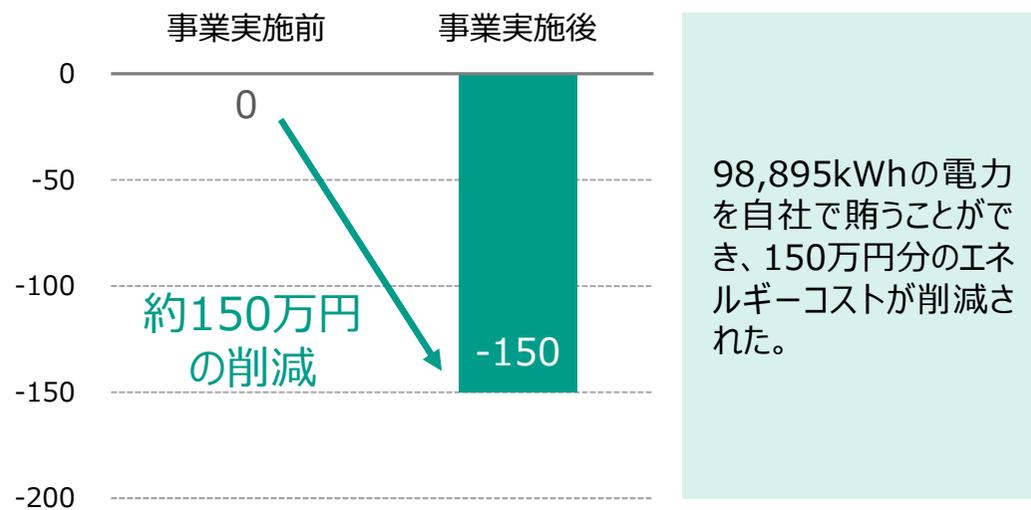
エネルギーコスト削減額		約150万円／年
投資回収年数	補助あり	約8年
	補助なし	約16年

CO ₂ 削減量	約57t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	12,213円／t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂／年)



エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】
※ ここに示す事業の効果は、電力単価：15.2円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

② 太陽光発電によるエネルギーコスト削減と、ブランド力向上

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 「太陽光発電導入」によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- ・ 「ふくいSDGsパートナー」として、県のSDGs企業に登録しており、太陽光発電で製造していることがPRに繋がった。
- ・ 製造コストの一つであるエネルギーコストのうち、設備導入先の施設で消費する1/4の電力を太陽光発電で賄うことができ、製造コストの削減に貢献した。また、電力価格高騰によるコストアップの影響が軽減された。

環境への取り組みのPRと環境価値を付加した商品の開発



太陽光発電



太陽光発電により、自社の**ブランド力向上**が期待される。

太陽光発電による製造コストの削減

実施前

製造に必要な電力をすべて購入



系統電力

実施後

製造に必要な電力のうち、1/4を自社で賄うことができた



太陽光発電



系統電力

太陽光発電により、**製造のエネルギーコストを削減**することができた。

② 太陽光発電によるエネルギーコスト削減と、ブランド力向上

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



上野

代表取締役社長

- ・ エネルギーコストが下がただけでなく、環境に配慮したブランド展開も検討しています。